

ディズニー x OpenAI: AI時代のエンタメ覇権戦略



業界再編：巨大化する競争への一手

Netflixの戦略：
物理的な「過去の遺産」買収



ワーナーを買収し、ハリウッドの
巨大IP群を獲得。



ディズニーの戦略：
AIによる「未来の生産手段」への投資



10億ドルの「非対称」投資で、
自社IPの無視生成能力を確得。

提携の主要条件	
投資額	10億ドル（約1500億円）+追加株式購入権
提供IP	ディズニー、ピクサー、マーベルなど 200以上のキャラクター
除外対象	実在俳優の肖像・音声

IP戦略の二極化：AI企業への「アメとムチ」

アメ：OpenAIとは提携



10億ドル出資と200以上のキャラを公式ライセンス提供。

アメ：OpenAIとは提携



10億ドル出資と20以上のキャラ提供

ムチ：Google・Midjourneyは提訴



著作権侵害を主張し、「公正利用」の注進を無効化する狙い。

世界的な波紋：「二重基準」への批判



日本のアニメ業界などは、自国IPの無断転載者が続くと強く反発。